

## 加盟競技団体 活動紹介

### 北海道アーチェリー連盟

本連盟は1960年に設立、来年60周年を迎えます。活動内容は年間20数回の全道大会を主催、運営、選手育成の強化合宿等、全国大会、世界大会の選手派遣、競技の普及、発展に活動している。道内の競技人口は小・中・高・大学生・社会人で約500人です。S48年に初めて全国大会をして以来毎年の様に主催、種類はターゲット・フィールド・室内大会全種類をしています。中でも「きたえーる」で全国より100名の選手を迎え全国室内大会を2回、ここはアクセツも良いと、とても喜ばれています。全国大会でも優勝、入賞、新記録と良い成績を残し活躍しています。2020年オリパラに向けて道内より選手が出場出来るよう努力しています。しかし冬が長く外で練習が出来ず不利な状況ですがその中でも世界大会に出場している本多由美子選手がいる事はとても嬉しい事です。

生涯スポーツとして年齢・男女・障がい有無を問わず今後も活動して行きます。



W杯表彰式



国体予選

### 北海道少林寺拳法連盟

少林寺拳法は1947年、香川県において宗道臣が創始されたものです。

当連盟は(一財)少林寺拳法連盟の下部組織として1964年に設立され、北海道内における普及活動を推進しております。

少林寺拳法は「自己確立」と「自他共栄」を基本理念として、拳の修行を通し武道としての側面と精神修養と人格形成を行う社会教育活動の側面を持ち、現在は北海道内において115カ所の道院拳友会、地域・実業団支部、大学支部、高校・中学の部が活動を行っています。



2018年7月29日 大会会場周辺清掃作業



2017年 世界大会1位授与拳士

近年は各種全国大会において数多くの成績上位者を輩出するだけでなく、幅広い年代が生涯スポーツとしてまた、中学武道必修化授業に向けての修練カリキュラムの研究・展開もしています。



2018年8月 車椅子マラソン支援事業

併せて少林寺拳法活動の一環として、その教えにもとづき、大会開催時には指導員と出場拳士全員による会場近隣の清掃活動、毎年の「はまなす車いすマラソン」における沿道警備のボランティア活動等を通じて、一人でも多くの社会に貢献できる人間育成を目指しています。